

QCサークルさつき大会

運営事例の概要解説



QCサークル東海支部静岡地区

1. 運営事例とは

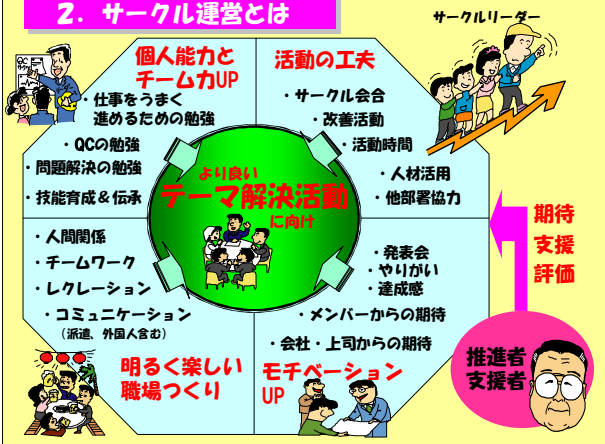
改善した内容を主にまとめた事例(改善事例)と異なり、**QCサークルの運営を通じて人・サークルがどう成長したかを主にまとめた事例** (運営事例=サークルリーダーの事例)

1~3年程度の期間でサークルがどう成長したか、そのためにどんな運営の工夫をして障害を乗り越え、PDCAをまわし活性してきたかを改善事例(1~2事例程度)を交えて発表する



ストーリー
自分達を取り巻く環境をよく認識した上で、自分達のサークル活動がどうあるべきか、どうありたいかを明確にして、それに向かって運営の工夫をし、仕組みにしてPDCAを回して行く。

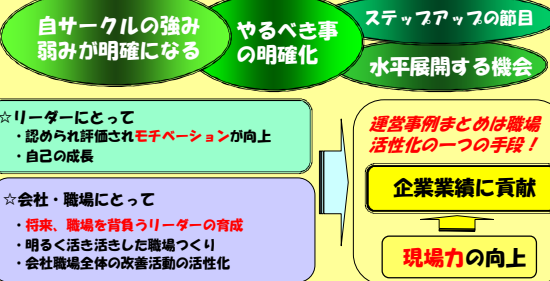
2. サークル運営とは



3. 運営事例取組みと発表の意義

1) 必要性(メリット) 発表によりリーダーは育つ!

個別の改善事例を比較するだけでわからなかった成長が、運営事例に取り組む事で明確になり、自分達のサークルがどうあるべきかが見出す機会となる。



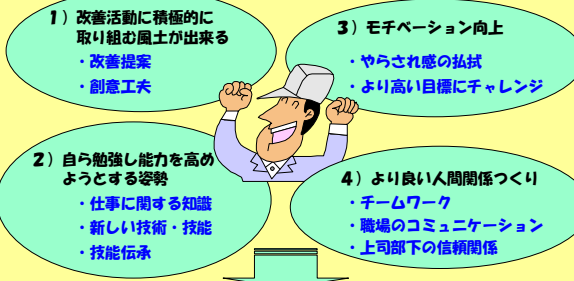
2) 運営事例聴講により得られるもの

より良いテーマ改善活動を進めるためにサークルとして行うべき事が解る。

- ☆リーダー
 - サークル運営のノウハウ
 - リーダーシップのとり方
 - リーダーとしての役割認識 他
- ☆メンバー
 - 将来自分がリーダーになったらやるべきこと、将来の目標
 - メンバーシップ
 - レベルの高い活動が出来た背景を知る 他
- ☆推進者
 - QCサークル活動の活性化に必要な事
 - 推進者のサークルへの関わり方
 - よりレベルの高い改善活動をするためのノウハウ
 - 他社・他部署の推進者の取り組み
 - 職場マネジメントにおけるQCサークル活動の役割 他

聴講により得られるものは大きい!

4. 優秀なサークルリーダーが職場にもたらすもの



環境変化に対応できる強靱な職場力づくり・活性化・職場力

優秀なサークルリーダーを育成することは将来の職場の核となる人を育てること

5. サークル運営に対する推進者(支援者)の役割

サークルの成長、活性化には推進者(支援者)の関与が重要

- 期待**
 - 会社方針、職場方針を明確にして全員に周知徹底する
 - サークル活動の方向性やリーダーへの役割・期待を示す
 - リーダーの選任(育成が基本、テーマ重視もあり)へ関与
 - 活動内容 (Q、C、D、S、M、E)
- 支援**
 - QCの考え方や手法を正しく理解し自ら指導する。
 - サークル活動がしやすい環境づくり(時間、場所、情報)
 - 活動に常に関心を持ち活動や発表資料作成などの指導を行う
 - 固有技術、QC手法、問題解決の手順等の指導・支援
- 評価**
 - 成果を報告する場づくり
 - 改善活動状況、成果の評価と支援状況の自己評価
 - レベル把握ツール活用

6. 運営事例発表への道すじ

選抜大会への足がかり
まずは運営事例に挑戦しよう!

■良い改善活動には必ずリーダーの努力、工夫がある、これを報告しよう!
(新しい技術や仕事の勉強 アイデア発掘 他部署との連携 などなど)

- 発表までのステップ**
- 優秀サークル選出 (がんばっているサークルにスポットを当てる)
 - サークルの過去の運営関係の課題・問題をまとめる
 - サークルのレベルを把握して弱み強みを評価しておくとうまい。
 - テーマ解決活動と運営の課題・問題の取り組みを関連付けまとめる
 - 改善効果を出すのに役立った運営の取り組み(工夫点)
 - 運営改善に至ったプロセス、がんばり、苦労などもまとめておく
 - 改善事例のテーマに運営関連のサブテーマを入れるとうまい
 - テーマ改善活動の成果と運営取り組みの成果をまとめる
 - レベル把握をしてサークルやメンバーの成長を評価しておく

7. 発表（活動）の基本プロセス

区分	基本的な発表手順	具体的内容	留意点
運営	1. 会社紹介 2. 職場及びサークル紹介	・会社、製品の紹介をする。 ・職場(業務内容)及びサークルの構成、経緯等について述べる	・サークルにかけるリーダーの意欲・信念を表明する
	3. 現状把握	・現状でのサークルの状況(強み・弱み等)或いは環境変化による課題等について述べる	・方策に結びつく分析(レベル把握等)、会社、職場方針等が把握されている
	4. サークル活動推進計画	・現状把握を踏まえ、サークルとして成長するための活動方針、活動目標、具体的方策、推進日程、役割等について述べる	・現状把握に基づくこと ・方策の抽出、適切さ ・役割分担 ・上司、他部門との連携等の工夫
事例	5. 具体的取り組み	・方策の具体的な取り組み内容について述べる	・目標達成に向けたPDCA
	6. 改善事例	・代表する改善事例を述べる *問題解決の手順、課題達成の手順に従う	・運営での取り組み内容を出せるだけ事例の中に取り込む
運営	7. 成果	・推進計画に対する成果を述べる サークルの強み弱みがどうなったか 成長がどうなったか	・活動目標の結果 人の成長、企業貢献、職場活性化のための貢献等 ・方策の実施状況
	8. 反省と今後の進め方	・この期間のサークル活動を振り返り、良かった点改善すべき点と今後の進め方について述べる	

サークルの運営もPDCAをまわし進めよう



8. 運営事例をまとめるポイント

1) 振り返る期間を決める

現在のメンバーになってからの時期を整理する
(3年以内)

2) 決定した期間の改善事例を整理する

これこそ自信作という事例を1件~2件程度を選ぶ

3) リーダーを中心としてメンバーの成長を整理する

改善手法、解析手法、アイデア出し、固有技術、精神的な面等

4) サークルとしての成長を整理する

テーマ完了件数、改善提案件数、表彰歴など自分達の評価尺度を考え整理する

5) アピールポイント(光もの=工夫)を整理する

サークル内の教育方法 会合の開き方 他部署との連携など
他サークルの参考になる物をアピールする

9. アピールポイント(光もの=工夫)

サークル運営の仕掛けが、目新しいもので、他サークルにこれほど自慢したいもの。

すでに一般化しているもの
テーマバンク、スタッフリーダー制など。

過去の東海支部選抜大会の例(キーワード)

技能伝承・技能向上の工夫

- ・「すご腕」テーター化
- ・実習ノート
- ・からくり道場

コミュニケーション向上の工夫

- ・アンテナ作戦
- ・滴ノート

活動の工夫

- ・とことんチャレンジ
- ・工程別不良モード表
- ・こだわり活動
- ・標準化記録ノート



10. 運営事例の評価項目(QCサークル東海支部)

		配点
基本的事業	1. 基本理念の実現	・リーダーとメンバーの成長が感じられるか ・環境変化に柔軟に対応しているか ・職場への貢献が明確か 40点 (10)
	2. 継続活動への新しい工夫	・リーダーが明確な目標・信念を持って進めているか ・サークル運営に新しい工夫・アイデアを取り入れているか (10)
技術的実	3. 取り上げたテーマ	・環境変化に対応した適切なテーマを選び期待した成果が得られているか 40点 (10)
	4. 問題解決課題達成のプロセス	・理論的・科学的に進められているか ・現地現物、適切な手法の正しい活用、原因究明の明確さと再発防止の的確さ等 (10)
	5. 技術の新規性確かさ	・設備(道具)、管理条件及び手順に新しい考えが導入されているか (10)
	6. 標準化と管理の定着	・標準類の見直し、改定に結びついているか・再発防止は的確か (10)
発表	7. 発表方法	・発表への努力、ひたむきさを感じられるか、芝居性を感じたら減点 20点 (10)
	8. 判り易さ	・聴く人へ判り易く伝える努力をしているか、さわやかな発表で好感を持てるか (10)



最後に!

すばらしい活動をしているサークルには、すばらしいリーダーが存在します。すばらしいリーダーを育てるには運営事例発表が非常に有効です。管理監督者・推進者の皆様はQCサークル活動を職場マネジメントそのものと位置付け、運営事例発表をリーダーの育成の場として活用し人材育成や職場の活性化に役立てていただきたいと思います。

QCサークル静岡地区



	評価項目・着眼点	評価基準の考え方	サークル	サークル	サークル	サークル
運営の工夫	《40点》 ①社会、会社及び職場環境への適応 ・メンバー構成変化、技術的対応など問題点は明確か ②リーダーシップ ・サークルの現状の正確な把握(問題点の明確化) ・明確なビジョンと実現のための計画性 ・メンバーへの気配り(サークルの基本に基づく指導) ・職制やスタッフ、関係部署との連携 ③継続的な活動のための新しい工夫 ④サークルとして自主的PDCA ⑤メンバーの成長感、達成感、満足感を引き出す工夫 ・挑戦する場の設定 ・全員の役割分担と総合力の発揮 ・自己啓発と相互啓発の努力 ⑥活動成果の把握 ・個人の成長、明るい職場、会社への貢献 ・QCサークルとしての自主的目標の達成状況 ・品質意識、問題意識、改善意識の向上	1. 基本理念の実現 《20点》 (配点) ●個の成長 (10点) リーダーとメンバーの成長が感じられるか ●変化に強い活力ある職場 (5点) 環境変化に柔軟に対応しているか ●企業への貢献 (5点) 職場への貢献度が明確か				
		2. 継続活動への新しい工夫 《20点》 (10点) ●リーダーシップ (10点) リーダーが明確な目標・信念を持って進めているか ●新しい工夫 (10点) サークル運営に新しい工夫・アイデアを取り入れているか				
		●取上げたテーマ (10点) 環境変化等に対応した適切なテーマを選び、期待した成果が得ているか ●問題解決・課題達成のプロセス (10点) 論理的・科学的に進められているか (現地現物、適切な手法の正しい活用、原因究明の明確さと再発防止の的確さ等)				
		●技術の新規性・確かさ (10点) 設備(道具)、管理条件および手順に新しい考え方が導入されているか ●標準化と管理の定着化 (10点) ・標準類の見直し、改訂に結びついているか ・再発防止が的確か				
発表の方法	《20点》 (表現力) ・ひたむきさ、一生懸命さ、さわやかさ ・発表者の熱意、自信、満足 ・聞く人の判り易さの工夫と努力(専門用語など) ・大声、ムダな掛け合い、合唱は評価しない ・浪花節調、お涙頂戴、学芸会は評価しない	1. 発表方法 (10点) ・発表への努力、ひたむきさを感じられるか ・芝居性を感じたら減点				
		2. 判り易さ (10点) ・聴く人へ判り易く伝える努力をしているか ・さわやかな発表で好感を持てるか				
		合計				

QCサークルを本部に登録しよう

QCサークル本部登録制度とは

1962年のQCサークルの誕生と同時にできた制度で、企業・組織・団体のQCサークルがQCサークル本部に登録する仕組みです。本部登録によって、自分たちのQCサークルの存在感を高め、全国の多くのQCサークルに仲間入りしたという自覚を持ち、学び合う空気が生まれ、QCサークル活動（小集団改善活動）がレベルアップすることを期待して設けられました。

QCサークル本部登録の活用

Web上で申請と情報管理ができ、QCサークル実情や実数が把握でき、情報をリアルタイムに活用することができます。

● 簡単に登録でき、操作も簡単です！

- Web上から会社名・登録者情報・サークル名のみ
のでOK!
- 登録に関する料金は一切無料です！

※旧制度(2008年9月以前)の本部登録番号は使用できません。

※「QCサークル本部登録」をされID番号をお持ちの方は、簡単にWeb上からの大会の「発表申込」「参加申込」ができます。是非ご利用ください。

<https://juse-qcch.juse.or.jp/qc/qctm/enter.aspx>

QCサークル本部登録のメリット

- 1 QCサークルリーダー、メンバーが全国のQCサークルの仲間に入ったとの自覚を持ち、学び合う空気が生まれ、活動のレベルが向上します。
- 2 QCサークル全国大会(小集団改善活動)の参加費が割引になります。
- 3 QCサークル本部・支部・地区主催のQCサークル大会で発表ができます。
- 4 全日本選抜QCサークル大会(QCサークル本部長賞)、「QCサークル石川馨賞」の応募資格を得ることができます。

インターネットによる本部登録制度の特長

- 1 Web上からQCサークル全国大会(小集団改善活動)の発表・参加申込みができます。
- 2 Web上で申請と情報管理ができ、ペーパーレスが可能です。
- 3 登録しているQCサークルの業種別、職種別、県別などのデータを入手することができます。
- 4 自社のサークルの情報を閲覧、分析することができ、今後の活動や推進に役立てることができます。

本件に関する
お問合せ先

〒118-0003 日本科学技術連盟内 QCサークル本部事務局

〒118-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

TEL:03-6378-9815 FAX:03-6378-9843 E-mail:qcctouroku@juse.or.jp